

南信州広域連合第3回広域連合会議 結果報告

日時：令和3年6月14日(月) 15:40～16:40

場所：南信消費生活センター大会議室

【出席者】14市町村長、副管理者

〔南信州地域振興局〕丹羽局長

〔飯田建設事務所〕所長代理

〔飯田保健福祉事務所〕松岡所長

〔町村会〕岡庭事務局長

〔飯田広域消防〕有賀消防長・下平次長兼警防課長・松下総務課長

〔環境センター〕飯田事務長

〔事務局〕吉川事務局長・加藤事務局次長兼総務課長・伊藤地域医療福祉連携課長

伊藤庶務係長・野牧広域振興係長・松澤庶務係主事

1 開会…15:40

2 広域連合長あいさつ

本日午前中に関東甲信が梅雨入りしたと思われるとの報道がされた。当地域は特に土砂災害への警戒が重要であり、今後本格的に梅雨を迎えるにあたり警戒を強め対策をしていくとともに、三六災害から60周年という節目の年でもあることから、過去の災害の教訓を後世にしっかりと語り継いでいきたい。

また新型コロナウイルスへの対応が最大の課題である中、県の方でワクチン集団接種会場を設置するとの話がある。各機関情報共有を密に対応していきたい。

3 協議・報告事項

(1) 地方創生テレワーク交付金を活用したエス・バードの整備について 【南信州飯田産業センター】 ～資料No.1～

ア 地方創生テレワーク交付金を活用したエス・バードの整備についての概要

- ・エス・バードはリニア時代に向けて、産業振興と人材育成の機能として、研究機能、インキュベーター機能、ファブスタ等を整備してきた。一方、足元では新型コロナウイルス感染症の拡大により、デジタル化の進展や企業や人の地方移転志向の高まりなどのパラダイムシフトが発生。

当地域においても、こうした動きを捉え、※1企業や人材を呼び込み地域課題を解決していくため、サテライトオフィス等の誘致に向けて、地方創生テレワーク交付金を活用してエス・バードの機能を拡充していくもの。

※1

- ・当地域の強みは、産業関係として南信州飯田産業センター（地域企業、行政機関との繋がり）があることやネスクイダ（販路開拓、開発支援）といった地域の産業との繋がりがあること。飯田工業技術試験研究所に設置した航空機関係の環境強化試験機器など、産業関連エス・バードの機能があること。豊かな自然と伝統産業があることなどが挙げられる。

- ・当地域の課題は、人口減少及び高齢化が著しいこと。製造業のIT等の活用等による生産性の向上（IT化への対応の遅れ）。事務系の求人が少ない（若い人を中心に働く場所が少ないというイメージ）などが挙げられる。

→こうした強みや課題を踏まえ、エス・バードの機能を活用する企業や地元の企業の実業性向上に資する企業（IT関連）、リニア時代を見据えた地域課題解決できる企業について、働きかけていきたい。

イ 具体的な機能整備の内容

*ハード事業

- ・会議室としての使用頻度が低いことから、B棟会議室を改修しインキュベート室（貸しオフィス）を増設。（3部屋分を増設、オフィス用什器の導入）
- ・B棟会議室で利用可能なテレビ会議機器、インキュベート及びコワーキング用のコピー機を整備。
- ・C棟1階のコワーキングスペースに個人用ブース（4席）を設置し、社会人や学生等のテレワーク等の利便性を向上（現在は机と椅子が置いてあるのみ）。

*ソフト事業

- ・サテライトオフィス誘致支援事業（地域分析、企業誘致戦略、企業とのマッチング）
- ・お試し入居支援補助（一定期間以上、エス・バードへお試し入居を行う県外企業に対し補助）
- ・進出企業活動支援事業（産業センターが実施する進出企業に対するアフターフォロー）等。

ウ スケジュール

- ・ハード事業については、予算審議後、7月から8月にかけて設計、工事入札を行う予定。
- ・ソフト事業についても企業の誘致は即時行っていくが、同様に予算審議後、支援委託事業等速やかに取組んでいく予定。

(2) 新型コロナウイルス感染症対策について（資料なし。共有すべき事項や課題について意見交換。）

(高森町)：今後、職域接種を県の方で始めていくという中で、一部の地域で大規模接種会場を設置したが人が集まらなかったため、学校職員及び保育士を集め接種を実施したと聞いている。

これまで話の中で、2回目の接種では、倦怠感や発熱等の副反応が3割程度出る可能性があると聞いているが、同業種の者が一同に会して実施するのは如何なものか。県の方である程度基準をお示ししていただくことはできないか。目安があれば教えていただきたい(何分割して実施する等)。

(保健福祉事務所)：各職場等、勤務条件についても様々であり特に目安は定めない。現状として3割程度の者が副反応症状が出ていることを考慮した上で、各自治体で対応して欲しい。

(連合長)：ファイザー社製については、2回目の接種後、3割程度の者に副反応症状が出たと聞いているが、モデルナも同様か。

(保健福祉事務所)：モデルナについても同様と考えている。

(連合長)：県の方で集団接種会場を設置し、職域接種を実施していくとの話がある中で、先程、高森町長が懸念していた同業種の一斉接種等は不安な点である。県として職域接種を実施していく計画の中で、基本的な考えはあるか。

(地域振興局)：基本的な考えは、一般接種と同様、市町村の対応。ただし市町村で議論していただき課題等については県も共有しバックアップしていきたい(医師、看護師を派遣する等)。現在のところ、エス・バードでの集団接種については、4日間を予定している。

(3) 看護師等確保対策修学資金貸与事業について 【事務局地域医療福祉連携課長】 ～資料No.2～

- ・新規貸与決定者については、現在のところ10名（新規8名、在学2名）。
- ・新規貸与決定者については、必要書類の提出を受け、7月から貸与を開始。
- ・令和3年6月1日現在、平成29年度からの貸与決定者総数は52名。現在貸与中は25名。

- ・貸与した者のうち、進学、取消等を除き就職者は16名。就職先は、飯田市立病院、飯田病院、健和会病院、喬木村役場、飯田市かなえ地域包括支援センター等。

→ 質疑なし。

(4) 信州木曾看護専門学校入試の広域連合推薦枠について 【事務局地域医療福祉連携課長】

～資料No.3～

ア 推薦者募集

- ・6月中に圏域内の8高校長宛に募集案内を郵送
- ・受付期間は、令和3年8月2日（月）から令和3年9月3日（金）
- ・提出先は、南信州広域連合地域医療福祉連携課

イ 推薦者選考会議

- ・令和3年9月13日（月）午後3時予定（会場は南信州広域連合事務センター）
- ・選考方法は書類選考及び口述考査（面接）
- ・選考委員については、要綱に定める5名（南信州広域連合副管理者、環境・福祉・医療専門部会長（喬木村長）、飯伊地区包括医療協議会事務局長、南信州広域連合事務局長、南信州広域連合地域医療福祉連携課長）

ウ 推薦決定の通知等

- ・結果通知については、令和3年10月1日（金）までに申込者へ結果通知を郵送。（口頭学校在学中の者の推薦結果は口頭学校長へも通知。）
- ・推薦決定者は広域連合長の推薦書及び必要書類を出願期間中に信州木曾看護専門学校へ提出。
- ・出願期間は令和3年10月7日（木）から10月18日（月）

→ 質疑なし。

(5) 飯田広域消防本部から 【消防本部警防課長】 ～資料No.4～

令和3年 市町村別火災発生状況について（6月8日現在）

- ・火災発生件数 17件（前年同日比 △7件）
- ・建物火災 25件（前年同日比 +8件）
- ・火災による負傷者 8名（前年同日比 +2名）、死者 2名（前年同日比 ±0名）
- ・たき火等の火災発生件数 17件（前年同日比 △10件）
- ・長野県が行う「春の山火事予防運動強化月間」に合わせ、市町村及び南信州地域振興局と協力し、山火事等の火災に対し強化した取組を行ったこと、また、乾燥注意報等の発令時に同報無線等の注意喚起を実施するなど一歩踏み込んだ取り組みを行った結果、たき火火災等の減少に繋がったと考える。今後も、関係機関と協力し、火災の減少に努めていきたい。

(6) 南信州いいむす21登録判定について 【事務局広域振興係長】 ～資料No.5～

- ・更新1件 エコトピア飯田株式会社 飯田工場 (61pt ★×7)
- ・評価のポイントとして、環境活動に対する評価を、毎月の朝礼だけでなく、他の従業員と共有されていたこと。また、地域貢献の一環として、小学生の環境学習に協力しており、子ども達からの感謝の手紙等を事務所内に掲示して、社内の啓発も行われていること。ご審議願いたい。

→ 異議なし。承認となる。

(7) 後援依頼（1件）について 【事務局庶務係長】 ～資料No.6～

行事名：有機農業研究者会議2021

主催者：「有機農業研究者会議2021」実行委員会

日時：令和3年8月26日（木）から8月27日（金）

内容：2008年から実施してきており、今回で14回目の開催。有機農業推進法を受けて、様々な技

術開発の取組みがなされているが、情報共有の場が少ないのが現状との課題を受け、有識者や有機農業実践者との情報共有を行える場として開催するもの。新型コロナウイルス感染症の拡大を考慮し、飯田文化会館主会場として、オンライン方式を併用。

後援理由：学会の支援のもと、南信州地域で有機農業を推進する機運を高めるため。

他の申請先：農林水産省、長野県、飯田市、松川町

補足（松川町）：有機農業の研究者の方々の興味が、学校給食に有機農業で栽培したものを利用できないかにシフトしていることもあり、松川でも取組んでいるところである。松川町は果樹農家が非常に多く、その中でも有機農地をなんとかしたいということで、会社等を辞め、新たに農業に取り組んでいる方々が中心となり給食のためにと栽培している取組みが注目を集め、今回の後援内容の中でも現場視察が予定されている。

→ 異議なし。承認となる。

(8) その他

ア 光回線整備に係る信越総合通信局長表彰について 【事務局長】

- ・南信州広域連合では、リニア中央新幹線開業を見据え、交流人口の増加や企業誘致を図るため、備えるべき ICT インフラ整備の強化を進めてきた。その中でも、特に光回線の整備において信越地域の電波利用及び情報発信の発展に貢献した団体として、南信州広域連合長が信越総合通信局長表彰を受けたため、報告とする。

イ 第6回南信州民俗芸能継承フォーラムについて 【事務局長】

- ・令和3年7月3日にエス・バードにて開催。チラシを配布し周知するのでご承知願いたい。

4 長野県から

*南信州地域振興局 【振興局長】

ア 新型コロナウイルス全県に対する医療警報の解除について

- ・4月8日に全県に対して「医療警報」を発出していたが、解除の指標である1週間あたりの新規陽性者数概ね100人未満かつ、受入可能病床数に対する入院者の割合25%未満という目標を達成できたため、6月8日に解除とした。しかしながら、最近、感染経路の特定できないケースもあることから、「県民・事業者の皆様へのお願い」として、改めて感染予防に留意するよう周知をしている。

イ 長野県ゼロカーボン戦略について

- ・県は、6月8日に2050ゼロカーボン化の実現に向けて、2030年度までの10年間の行動計画にもあるゼロカーボン戦略を作成した。
- ・基本目標は、「社会変革、経済発展とともに実現する持続可能な脱炭素社会づくり」として、ゼロカーボンとともに地域経済活動の発展や、県民生活の質の向上を目指すこととしている。
- ・分野別の2030年度までの主な目標は以下の通り。

【交通】EVの普及として、全ての区間で充電インフラを整備

【建物】全ての新築建築物のZEH・ZEB化の実現

【産業】エネルギー消費量を年2%削減

【再エネ】住宅太陽光と小水力発電を徹底普及、エネルギー自立地域10カ所以上

【吸収・適応】森林資源を健全に維持しCO2吸収量を増加、森林資源を活用した農業、生態系、防災・減災事業など各分野での適応策の実施

【学び・行動】全ての県民が気候変動を理解し、環境に配慮した行動を实践

- ・数値目標は非常に高いものであり、県民ひとりひとりが気候変動を正しく理解し、速やかに県民一丸とならなければ達成は厳しい。県としても早速県議会6月定例会に太陽光発電の普及を加速

させるための事業費として5億円余の補正予算を計上。当地域振興局としても、各市町村と連携し、地域一丸となりゼロカーボンに向け取組んでいきたい。

ウ 令和3年度コミュニケーション研修会について（案内）

①信頼関係を築くコミュニケーション研修

概要：コロナ禍により生活様式の変更を余儀なくされている中、若手職員においては研修機会が失われるなど仲間同士のコミュニケーションを図る機会が減少しており、メンタル面で支障をきたすことが心配されている。一方、日頃から若手職員との接する機会の多い部署の管理職員においてはよりよいコミュニケーションが求められるが、そのきっかけづくりや継続に苦慮している。こうした実情から管理職員を対象に若手職員とのコミュニケーションを学ぶ場として、研修を企画するもの。

日時：6月30日（水）13時00分から16時00分

対象：南信州地域に勤務する県関係の管理職員及び市町村の管理職員

②「学びと自治の力」で拓くリニア新時代の南信州地域

概要：with コロナ、after コロナも見据えた「リニア新時代」の地域の姿を思い描き、実現していくために地域の行政職員はどのように関わっていくべきか、また持続可能な地域づくりにおいて果たすべき役割とは何かを協働して考える研修会。

日時：第1回 令和3年7月9日（金）13時30分から16時00分

第2回 令和3年8月2日（月）13時30分から16時00分

対象：南信州地域に勤務する長野県職員及び市町村職員

*飯田保健福祉事務所 【保健福祉事務所長】

市町村ごとに目標接種率の達成に向け、ワクチン接種を進めてもらっているところである。接種率はV-SYS（ワクチンの割当管理）やVRS（ワクチンの接種記録管理）等のシステム情報から割出されるため、入力処理等が完了しないとリアルタイムな数値が出ない。情報の反映には多少なりタイムラグがあることを承知願いたい。

（連合長）：VRSの入力については、市町村ごとに入力要領も違い、非常に苦慮している面でもある。また県から公表する場合には、公表数値がどのような数値なのか（いつ時点、何を根拠とした数値か等）、公表ベースで明らかなものであり、県民の皆様に伝わりやすいものになるよう検討していただきたい。

5 当面の日程について

令和3年6月21日（月） 令和3年度南信州地域交通問題協議会総会

6 その他

特になし

7 閉会…16:40